

大学

企画課管理用 社 一 C 一 2

推進主体	学生センター学生課
責任者	学生センター所長

分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
社	一	C	②ボランティア活動の推進・支援	令和 4 年度	令和 9 年度	あり(予定)

① 目的・内容

【目的】新型コロナウイルス感染症拡大による社会・経済活動の停滞により、学生が大学に通学することが出来ず、またアルバイトを行うことも出来ずに社会から隔離され孤立した状態に置かれることとなった。例えば令和2年度入学者は、1年間同級生と顔をあわせる機会を持たず、孤独を理由として精神的につらい状況に至った等の報告がなされている。今後も繰り返される可能性のあるこのような社会的な状況に備えて、インターネット・SNSを媒介とした学生ボランティア団体による本学在生学生間のネットワークの構築を中心とした、学生ケアの在り方を検討する。

【内容】Ⅰ) コロナ禍の学生の状況や他大学の先行例を調査し、あるべき支援のかたちを見定める。
Ⅱ) 「あるべき支援」を実施するために必要な体制づくり(既存の学生団体で十分に対応できるのか/あらたなグループ・団体の創設が必要なのか)について検討する。
Ⅲ) 学部生・院生、さらには卒業生等を対象とする大規模なネットワーク運用にかかる人員の確保(卒業生ボランティアの確保や、地域団体などとの協働)や経費の問題について検討する。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

学生ボランティアを中心とした団体による、在学生対象の主に心理的なケアを目的としたネットワークの構築を目指す。学生同士が繋がりを持つことで、過度に孤立感を深めることがないような体制を整えていくことを目標とする。

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定		支援メニューの検討					
				実施に向けた体制の検討			
						実施メニューの絞り込み 実施計画の策定	

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1							
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2							
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和4年度 (2022年度)	学生の心理的ケアを目的とした、学生ボランティアを中心とする本学在生間のネットワークの創設にあたり、コロナ禍における本学学生の状況や他大学の先行例を調査し、学内関係各所に諮るべき実施計画素案の策定を行う。	学生センター主催で、新入学生等を対象に学生生活相談や履修登録支援等を行う準備を進めた。学生からの相談や履修登録支援の補助については、ボランティア学生に依頼することを検討している。なお、課外活動団体の勧誘活動では、SNSを有効活用した部会が部員獲得に成功したケースが多くみられた。SNSは、学生同士がつながるための重要なツールの一つであることは間違いないので、対面での学内ボランティアの創出とあわせて、インターネット・SNSを媒介とした学生ネットワークの構築について検討を進めることとしたい。 ★進捗段階:「計画立案」
令和5年度 (2023年度)	<ul style="list-style-type: none"> 学生センター主催「学生生活相談会」の実施を検討する(相談員として学生ボランティアを募る)。 インターネットやSNSを利用した支援について、他大学の先行例等を調査する。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度4月初旬(4月5日・6日の2日間)に開催予定の新入学生対象「学生生活相談会」の企画・準備を実施した。相談員は学生ボランティアに依頼し、一般的な学生生活相談・課外活動相談・履修相談補助を行う予定である。 インターネットやSNSを利用した支援について、他大学の先行例の調査を実施した。 ★進捗段階:「実施展開」
令和6年度 (2024年度)	<ul style="list-style-type: none"> 学生センター主催の「学生生活相談会」について、開催内容について検証を行い、次年度の開催に繋げる。 インターネットやSNSを利用した支援については、他大学の先行例の調査を基に、コロナ禍以降の活用方法や学生による恒常的な支援対策について検討する。 	
令和7年度 (2025年度)		
令和8年度 (2026年度)		
令和9年度 (2027年度)		